

進路指導部だより

6月17日（月）から2年生と3年生は、10日間の現場実習に臨みました。校内や校外の実習先で“働く”ことの意味を学びました。1年生は、前半の5日間は特別時間割で様々な体験を積み、後半の5日間は校内実習に取り組みました。今回の進路指導部だよりでは、1年生の農業体験実習や、実習後のキャリアカウンセリング、PTA研修会、進路ガイダンスの様子を紹介します。

農業体験実習

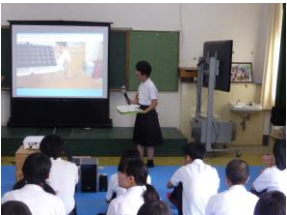
6月20日（木）高等部1年生の社会コース9名が、市島町にある就労継続支援B型施設の丹波丹（まごころ）ファームに行き、農業体験実習を行いました。支援員の方に手ほどきを受けながら、校内では経験できないビニールハウス内でトマトの収穫や販売準備をしました。収穫は、収穫時期のものをよく見極めながら採っていました。販売準備では、トマトの汚れを拭き取る係、軸を切る係、軽量する係、袋詰めをする係等、役割を分担して作業を行いました。暑い中での作業となりましたが、お互い協力しながら最後まで集中して取り組むことができました。



キャリアカウンセリング

7月1日（月）は1日かけて前期の現場実習のまとめを行いました。実習ノートをもとに仕事内容を振り返ったり、目標や注意点を再度確認したりしました。良い評価をされた点や注意された点についても振り返りを行いました。このような取り組みをキャリアカウンセリングと呼び、後期の実習や今後の進路を考える糧としていきます。

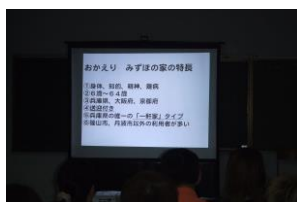
7月4日（木）には、現場実習の報告会を行いました。動画やスライドで実習中の様子が紹介された後、各クラスの代表が実習中の感想を発表しました。司会進行の教師からインタビューを受ける場面もありました。発表役の生徒は、前に出て緊張している様子でしたが、しっかりと発表をすることができました。人前で発表をする経験は進路先でも必要になります。



後期の実習は、9月24日（火）から10月4日（金）までの土日を除く9日間になります。2学期は、中学部も校内作業学習や職場体験学習を予定しています。

PTA研修会

7月3日（水）授業参観終了後、丹波篠山市にてNPO法人いぬいふくし村の設立や、障がい者短期入所施設おかえりみずほの家の設立、グループホームの運営の他、幅広い活躍をされている山中信彦様にお越しいただき、「お母さん、がんばらなくてもいいよ。でもこれだけはね」と題してご講演いただきました。当日は40名の方にご参加いただき、山中さんの経験談やご苦労されて現在も走り続けておられる様子に静かな感動をいただきました。



なお、2学期には、PTA施設見学が予定されています。詳細については、2学期に入ってから連絡させていただきます。

職業ガイダンス（社会コース）

神戸市にある職業能力開発施設より4名の方にお越しいただき、職業ガイダンスを実施しました。これは、民間企業における障害者雇用の拡大に向け、できるだけ多くの特別支援学校の生徒等に具体的なイメージをつかんでもらうことを目的として行われている障害者体験ワーク事業のひとつです。働くことに関する出前講義や、簡単な作業が体験できる出前ワークをとおして、就労に向けての知識やスキルを学び、働くことへの興味や関心を広げていくことを目指しています。

最初にスライドを用いた講義を受け、いろいろな職業や社会人にとって大切なこと、職場での言葉づかいについて学習しました。



休憩をはさんで後半は模擬作業でカードによるピッキング作業を行いました。2年生4名、3年生4名の8名が、前半の講義で学んだ内容を模擬作業の中で体験しました。



最初は、緊張した様子でしたが、繰り返し行うことで動きも速くなってきました。実際に作業を行っている生徒の感想には、「一度間違ってしまうと、動揺してしまっただ。」や「報告のときに、目線を注意された。」などの反省点が聞かれました。見学していた生徒からは、「最初に学習したことが活かされていた。」「集中し協力してできていた。」などの感想が聞かれました。次回は9月12日（木）にビジネスマナー教室を予定しています。